

病害虫発生予察特殊報(第2号)

平成26年1月27日
神奈川県農業技術センター所長

病害虫名：タバコノミハムシ
Epitrix hirtipennis (Melsheimer)
作物名：ナス

1 発生経過

- 平成25年8月中旬に海老名市の露地ナスほ場で、園主がノミハムシ類による葉の食害を発見した。
- 同年8月下旬に、当センター病害虫防除部職員が現地を調査したところ、ノミハムシ類によるナスの葉の被害を多数確認した。そこで横浜植物防疫所に同定依頼した結果、タバコノミハムシと同定された。
- 本種は北アメリカおよび中央アメリカに分布するとされていたタバコの害虫である。

2 形態および生態

- 形態
体長は1.5~2.5mm。長楕円形でやや扁平であり、色彩はやや光沢のある赤褐色で、上翅には不明瞭な黒斑を持ち、後腿節は顕著に肥大している。
- 生態
卵は地表に産み付けられ、孵化した幼虫は地中で根を加害した後、地表部近くで蛹化し、成虫は落葉等の下で越冬すると海外の報告がある。また、気温27℃、湿度80%および明期14時間・暗期10時間の下では、卵から成虫までに24日間を要するとの報告がある。我が国では、関東地域で5~6月および9~11月に成虫が確認されており、さらに県内ほ場で8月に発生が確認されたことから、初夏から晩秋まで連続的に発生するものと考えられるが、国内における生活史はまだ明らかでない。

3 被害および寄主植物

- 被害
葉の表皮の片側を残して葉肉を食害または葉を貫通して食害し、直径1~2mm程度の多数の小さな白い点状の食害痕や丸い穴が観察される。収量への影響は不明である。
- 寄主植物
アメリカ合衆国では、タバコ、ナス、バレイショ、ホオズキ等のナス科植物を寄主とし、タバコの重要害虫とされている。国内では、ナス、バレイショ、ホオズキ、ワルナスビ、トマトで発生が確認されている。

4 防除対策

- 本虫に対して、平成26年1月1日現在、適用登録のある農薬はない。
- 本虫と疑わしい個体が寄生しているナス科作物の栽培終了時の片付けは、付近のナス科作物に本虫が移動しないよう注意する。
- 本虫の具体的な防除方法については、最寄の指導機関にご相談ください。

5 その他

本虫は家庭菜園、有機栽培、減農薬栽培ほ場を中心に発生が報告されており、通常の病害虫対策を行っているほ場ではほとんど確認されていない。

6 参考資料

原田・滝沢(2012)日本における侵入害虫タバコノミハムシの発生.応動昆.56:117-120

栃木県農業環境指導センター平成24年度病害虫発生予察特殊報第2号



図1 ナスの葉の被害(1)



図2 成虫



図3 ナスの葉の被害(2)



図4 被害の進行したナスの葉

神奈川県農業技術センター 病害虫防除部
〒259-1204 平塚市上吉沢 1617
TEL 0463-58-0333 FAX 0463-59-7411
テレフォンサービス 0463-58-6612(平成26年5月末で終了)
インターネット <http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f450002>